

平成22年度訪日外国人宿泊者数(延べ数)の状況について

北海道胆振総合振興局

平成23年7月

1. 概要

平成22年度の訪日外国人宿泊者数(延べ数)は433,717人で、前年度(391,805人)に対し、41,912人の増加(前年度比110.7%)となりました。

平成22年度上期においては、7月の訪日中国人の観光ビザ取得要件の緩和、アジア地域の景気回復や北海道ブームの影響によるアジアを中心とした訪日外国人旅行者の大幅な増加によって、外国人宿泊客は対前年度同期に比べて大きく増加しました。一方、下期においては、9月に発生した尖閣諸島沖の中国漁船衝突事件による訪日中国人の減少やチャーター便の減少などによる訪日台湾人の減少、3月11日に発生した東日本大震災の影響により、外国人宿泊客は大きく減少しました。

この結果、平成22年度の訪日外国人宿泊客数(延べ数)は、総じて見ると上期が好調だったため、前年度と比較して増加となりました。

2. 圏域・国別の概況

胆振管内における訪日外国人宿泊者数(延べ数)を国・地域別で見ると、韓国が127,760人で最も多く、次いで、台湾が126,292人、中国が65,126人となっています。

上位5カ国は、下表のとおり全てアジア圏の国で占められており、胆振管内に宿泊した外国人の95%以上が、上位5カ国にマレーシア、タイ、インドを加えたアジア圏からの旅行者となっています。

特に、韓国からの訪日外国人旅行者は前年度比152.8%と大幅な伸びを見せていますが、これは平成22年3月以降に日韓間の航空便が急増したことや韓国国内の景気回復による消費意欲の向上が影響したためと考えられます。

一方、上期には前年度同期比160.7%と大幅な伸びを見せた中国でしたが、9月に発生した尖閣諸島沖の中国漁船衝突事件以降は大幅に減少し、平成22年度全体としては、前年度同期比96.2%と減少しました。

【参考：平成22年度胆振管内訪日外国人宿泊客(延べ数)上位5カ国】

順位	国名	平成22年度 宿泊者数(人)		前年度同期 宿泊者数(人)	対前年度 同期比(%)	前年度同期からの 増減数(人)
		構成比(%)				
1	韓国	127,760	29.5	83,618	152.8	44,142
2	台湾	126,292	29.1	149,468	84.5	▲23,176
3	中国	65,126	15.0	67,690	96.2	▲2,564
4	香港	51,606	11.9	46,920	110.0	4,686
5	シンガポール	31,207	7.2	22,780	137.0	8,427
	その他	31,726	7.3	21,329	148.7	10,397
	合計	433,717	100.0	391,805	110.7	41,912